

# ISO/TC 127（土工機械）国際作業グループ 2012年6月ドイツ会議報告

## ISO/TC 127/SC 2/WG 22 - ISO PWi 17757（自律式機械の安全性）ベルリン国際会議

2012年6月に、国際標準化機構ISOのTC 127土工機械専門委員会の傘下の主として電子技術に関連した国際作業グループの会議がドイツ国ベルリン市のVDMA（ドイツ機械工業連盟）で開催され、協会標準部会ISO/TC 127土工機械委員会から国際専門家(Expert)として出席の砂村氏他の報告を紹介する。

### ISO/TC 127/SC 2/WG 22ベルリン国際会議出席報告

- 1 会議名：ISO/TC 127/SC 2/WG 22 - PWi 17757（自律式機械の安全性）
  - 2 開催地：ドイツ国ベルリン市のVDMA（ドイツ機械工業連盟）会議室
  - 3 開催日：平成24年6月21日（木）、22日（金）
  - 4 出席者：米国8名：Elliott, Mark L, Mr, Roley, Daniel G, Dr, Lueschow, Kevin, J, Mr, Stratton, Ken L, Mr (Caterpillar)、Weires, Rick, Mr (Deere)、Ulrich, Steve, Mr (Vermeer)、Jan Wei Pan, Dr、Canalichio, Troy, Mr (Liebherr)、ドイツ2名：Piller, Georg, Mr (Wirtgen)、Kampmeier, Rene, Mr (VDMA)、フィンランド1名：Luuko, Mika, Mr (Sandvik)、日本4名：遠嶋 雅徳、吉田 克美、田中 昌也（コマツ）、砂村 和弘（日立建機）、ISO中央事務局：Kennedy, Steffen, Mr 計16名
- ISO/TC 127/SC 2/WG 22 コンビナー（主査）兼 ISO/PWi 17757 プロジェクトリーダー(PL)：前記 ELLIOTT 氏（米国、Caterpillar 社）

大規模鉱山などで使用される無人式機械（超大形の重ダンプトラックが多い）の自律式運転（無線操縦ではなくプログラム制御により運転）の安全性に関する標準化検討で、今回の会議で原案にだいたい原案に「目鼻がついた」ので、原案が今後配付されたら、ぜひコメントをいただきたく、また、勉強会も国内で”開催したい”。

### 5 会議結果概要：

- ISO中央事務局のKennedy氏が、ISOテンプレートを用いて作成したISO/WD 17757原案を見せた（だいたい形になってきている。今回もKennedy氏は楽しそう。のりのり）。
- 電源故障時の自動停止要求が論議された（限りがあるよね）。
- 通常の有人運転する機械を、関連装置を後付けで自律（運転）式とした機械を適用範囲に含めるため、原文を修正することとした。
- 白髪のStratton, Ken氏がコミュニケーション不良時の安全停止要求を書いてきた。なかなかよい文章、さすが。
- 前回会議で、運転員の操作が必要な無人式の機械（遠隔操縦）と自律式（プログラム運転）の区別の必要性が論議されているので、これに関連して“運転員”が定義されている。
- 制動装置の圧力低下の警告ランプをつけることとされた。
- 毎朝始業前に制動装置の自動試験をすることが論議されたが、新しい概念ではないか。
- Roley博士は、今回も、自律式だけの機械は制動装置の要求をゆるめてよいんじゃないかと言っているが、実際にはすべての自律式機械は、乗車式の機械をベースにつくられているのでは？
- 機械は、制動装置及びかじ取り装置に対する気候の影響を考慮せよ。

### 6 次回会議予定：2013年2月にオーストラリアにて予定

以上